

令和6年度 豊田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

豊田地区は、栄区の中で南西の位置にあり、戸塚区と鎌倉市、一部港南区と隣接している。最寄り駅は戸塚駅・本郷台駅・大船駅となるが、多くの方がバスを利用している。高齢化率は令和5年9月末現在で29.46%（栄区30.79%）だが、最も低い長尾台町の20.18%から最も高い本郷台での40.79%と地区内でも差があり、課題もそれぞれ異なっている。本郷台では75歳以上の後期高齢化率も27.7%となっており、住民の約4人に1人以上が75歳以上となっている。

近年はコロナ禍を経て、高齢者の足腰の筋力低下や認知症の進行に関する相談が増えている。このため、ケアプラザだけではなく、それぞれの地域で「歩いて通うことができる集まりの場」が必要となっている。また、認知症の方やご家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の中で見守り合える関係づくりも大切である。

一方、要介護認定者数は横浜市平均に比べ少なく、介護度も低い傾向にあり、元気な高齢者が多い地域であることが伺える。介護予防に力を入れ、住み慣れた地域で、いつまでもその人らしい生活ができるように支援する。

また、高齢者のみでなく、子育て支援においても、乳幼児がいる親の孤立防止のため、地域の中で繋がりづくりが必要。学齢期の子どもについても、地域の中で活躍できる場を用意し、子どもたちの地元愛を育みます。障害児者においては、地域の中で見守られながらその人らしく生活できるよう、より一層の啓発と交流が必要である。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	■	<地域福祉保健計画の推進支援> ・支え合い連絡会や6つの委員会を定期的に開催し、地区別計画の推進を行う。 ・各委員会と協働し、地域課題についての検討を行う。 ・第5期計画の策定について、連合町内会自治会や地区社協、各種委員会委員等と取り組む。
<input type="checkbox"/>	■	<地域ケア会議の開催> ・個別ケースについての地域ケア会議を開催し、地域全体で課題に取り組む。 ・個別ケースから把握した課題を包括レベルケア会議、協議体等に繋ぐための機会をつくる。 ・身近な場所で集える場、住民同士の支え合いの必要性を地域住民と共有し、地域における取組みを支援する。
<input type="checkbox"/>	■	<集まる場や見守り体制づくりの支援> ・歩いて通える場所でサロンや健康体操等介護予防につながる取組みができるよう、地域活動を支援する。 ・地域にある各種集いの場において、参加者同士の見守りができるよう、啓発する。 ・支え合い連絡会や委員会、協議体等により具体的な検討を行う。
<input type="checkbox"/>	■	<民生委員や専門職との情報共有> ・各地域の民生委員の方々と、専門職との情報交換を行い、必要な情報を共有する機会を図る。 ・地域団体との専門職（ケアマネジャーを中心に）との情報を共有し連携する場を図る。
<input type="checkbox"/>	■	<子育て世代や障害児者への支援> ・子育て世代が集い、親同士がお互いの悩みや困り感を共有できる場づくりを、地域の方とともに取り組む。 ・他ケアプラザと共に実施している障害児余暇支援事業の中で、若い世代のボランティアの協力も募り、障害への理解を広める。 ・委員会の子ども及び障害児者に関する取組みを、区や区社協と連携して支援する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・支え合い連絡会や6つの委員会を定期的に開催し、地区別計画の推進を住民主体に実施できた。また第5期地域福祉計画に向けて地区懇談会を開催。多くの住民の方と地域課題について検討できた。
・個別ケースについての地域ケア会議を開催し、地域全体で課題に取り組む。個別ケースから把握した課題を包括レベルケア会議、協議体等を開催。自治中心に地域お店に協力いただき「見守りステッカー」を作成。住民同士の支え合いの必要性を地域住民と共有し、見守り体制の取組みを構築できた。
・歩いて通える場所でサロンや健康体操等介護予防につながる取組みとして「スクエアステップ」「ポールウォーキング」「栄養講座」「尿モレ予防」など実施。介護予防の啓発となった。また支えあい連絡会（健康づくり委員会）と協働で開催できることも大きな成果と思う。
・子育て世代が集い、親同士がお互いの悩みや困り感を共有できる場づくりとして住民の方「親子の広場」「親子の広場」「パパ講座」など実施。新しい親子の交流ができた。まら七五三プロジェクトを支えあい連絡（子どもネットワーク委員会）と協働で開催できること困窮世帯への新たなつながりとなった。

区からのコメント

・第4期地区別計画の推進では、支え合い連絡会をはじめ、6つの委員会に対し、地域主体の取組が進むよう細やかな支援を行うことができています。また、第5期地区別計画の策定に向けて、令和6年度には地区懇談会を開催し、多くの住民の方と地域課題の共有を行っていただき、策定に向けて順調に進めています。
・個別支援について、介護保険に関する相談をはじめ、数多くの相談に対応するとともに、必要に応じて区役所や関係機関と連携するなど、多様なニーズにきめ細かく対応しています。
・サロンや介護予防の取組みでは、「スクエアステップ」「ポールウォーキング」「栄養講座」など、地域ニーズに応じた取組を実施していただくことで、介護予防の啓発につながることができます。また支えあい連絡会（健康づくり委員会）と協働で開催するなど、関係者を巻き込みながら取り組むことができます。
・引き続き、地域の身近な相談機関として地域や関係機関と連携しながら、高齢者、子ども、障害のある人など誰もが地域で安心して暮らせるよう、豊田地域ケアプラザの強みを活かした取組をお願いいたします。

令和6年度豊田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	ケアプラザという公の立場を意識し、ハートページ等の資料を提示した上でサービス提供事業者を選択してもらうなど、特定の事業者や利用者への利益誘導等に陥らないよう公正中立を常に意識し、業務に努めます。	「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程及び個人情報保護に関する方針」に基づき、全職員が統一した認識とルールによって個人情報の保護にあたるよう努めます。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する内部研修を実施し、意識啓発を図ります。
実績	サービス利用の決定に関しては、ハートページなどを提示し、利用者の意向を尊重し、公正・中立的な立場で偏りのないサービス事業所の選定による支援を行いました。複数のサービス事業所等の情報提供を行いました。	本会が定める個人情報保護に関する規程及び方針に基づき、全職員が統一した認識によって個人情報保護にあたるよう努めました。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する研修を実施し、意識啓発を図りました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1・2と認定された高齢者が日常生活において具体的な生活目標を持ちながら生活を送っていたように、利用者と家族との協働作業による介護予防プランの計画作成を行います。	利用者・家族の話をしっかりと傾聴し、利用者のニーズや意向に基づいたケアマネジメントを行います。また、介護支援専門員のケアマネジメントの向上を図り、また抱えた課題を組織で解決し、解決のノウハウを蓄積します。 法令を遵守し、安定した介護報酬を確保します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	保健師等1名(常勤兼務)、 管理者・主任ケアマネジャー1名(常勤兼務)、社会福祉士2名(常勤兼務)、予防プランナー3名(非常勤専任)	管理者・介護支援専門員1名(常勤専任) 介護支援専門員2名(非常勤専任)
契約者数	121件	87件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	介護保険で「要介護」「要支援」と認定を受けた方に、日帰りで食事・入浴・機能訓練などのサービスを提供し、ご本人やご家族の日常生活を支援します。		
実施体制	【実施日数】 年間360日(休日: 12/29~1/3) 【提供時間】 10:15~15:20 【定員】 31名(通所介護・第1号通所介護合計)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 ■通所介護 食費負担 800円 (食事キャンセル料502円) ■第1号通所介護 食費負担 800円 (食事キャンセル料502円)	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者1名(常勤)、生活相談員3名(常勤)、 介護員111名(非常勤)、看護師(機能訓練指導員)4名(非常勤)、送迎運転員4名(非常勤)、調理員4名(業務委託)		
契約者数等	【延べ利用者数】8204 【契約者数】 90名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

**令和6年度「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<地域活動交流>**

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,559,512	2,371,322	22,930,834	22,432,968	497,866	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	46,000		46,000	0	46,000	
雑入	68,000	0	68,000	33,290	34,710	
印刷代	50,000		50,000	0	50,000	
自動販売機手数料	18,000		18,000	0	18,000	
その他			0	33,290	△ 33,290	
その他	△ 2,498,598		△ 2,498,598		△ 2,498,598	
収入合計	18,174,914	2,371,322	20,546,236	22,466,258	△ 1,920,022	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,205,000	0	13,205,000	10,548,557	2,656,443	法人本部経費は含まれていません。
本俸	11,108,000		11,108,000	9,207,579	1,900,421	
社会保険料	547,000		547,000	655,154	△ 108,154	
手当計	1,538,000		1,538,000	458,965	1,079,035	
健康診断費	6,000		6,000	6,239	△ 239	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,750	△ 750	
退職給付引当金繰入額	0		0	84,719	△ 84,719	
その他			0	129,151	△ 129,151	賃金スライド128,532(賃金スライド)+619(その他)
事務費	523,000	0	523,000	596,821	△ 73,821	法人本部経費は含まれていません。
旅費	9,000		9,000	25,000	△ 16,000	
消耗品費	100,000		100,000	253,900	△ 153,900	
会議旅費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	91,000		91,000	50,000	41,000	
通信費	271,000		271,000	210,000	61,000	
使用料及び賃借料	9,000	0	9,000	0	9,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	9,000		9,000	△ 27,787	36,787	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	10,000	△ 10,000	
職員等研修費	5,000		5,000	3,000	2,000	
振込手数料			0	20,000	△ 20,000	
リース料	33,000		33,000	0	33,000	
手数料			0	5,000	△ 5,000	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	47,708	△ 47,708	文書廃棄(47708円)事務スペース対応(2242790円)
事業費	303,000	0	303,000	95,088	207,912	法人本部経費は含まれていません。
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	303,000		303,000	95,088	207,912	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	220,000	0	220,000	59,840	160,160	
太陽光パネル保守点検	220,000		220,000	59,840	160,160	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）	0		0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0		0		0	
管理費	7,747,000	0	7,747,000	8,326,853	△ 579,853	法人本部経費は含まれていません。
光熱水費	4,199,000		4,199,000	5,080,215	△ 881,215	
清掃費	1,318,000		1,318,000	1,351,591	△ 33,591	
機械警備費	223,000		223,000	222,638	362	
設備保全費	1,860,000	0	1,860,000	1,228,906	631,094	
空調衛生設備保守	452,000		452,000	480,687	△ 28,687	
消防設備保守	22,000		22,000	27,142	△ 5,142	
電気設備保守	90,000		90,000	111,319	△ 21,319	
害虫駆除清掃保守	26,000		26,000	25,445	555	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	1,270,000		1,270,000	584,313	685,687	太陽光発電設備保守、自動ドア、ELV、樹木、ゴミ、文書廃棄
共益費	0		0	0	0	
その他	147,000		147,000	443,503	△ 296,503	樹木、ゴミ、玄関マット
修繕費	474,000		474,000	264,134	209,866	予算:指定額
公租公課	1,060,000	0	1,060,000	0	1,060,000	法人本部経費は含まれていません。
事業所税			0		0	
消費税	1,060,000		1,060,000		1,060,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
支出去合計	23,532,000	0	23,532,000	19,891,293	3,640,707	
差引	△ 5,357,086	2,371,322	△ 2,985,764	2,574,965	△ 5,560,729	

自主事業費 収入	46,000	0	46,000	0	46,000
自主事業費 支出	303,000	0	303,000	95,088	207,912
自主事業 収支	△ 257,000	0	△ 257,000	△ 95,088	△ 161,912

管理許可・目的外使用許可に関する収入	18,000	0	18,000	0	18,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関する支出	9,000	0	9,000	△ 27,787	36,787	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関する収支	9,000	0	9,000	27,787	△ 18,787	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和6年度「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<包括等>**

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,582,944		30,582,944	26,770,305	3,812,639	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,951,811		5,951,811	5,951,811	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	36,000		36,000	0	36,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	20,400	△ 20,400	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	25,000		2,035,000		2,035,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	39,084,755	0	39,084,755	33,196,516	5,888,239	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,699,000	0	26,699,000	31,639,503	△ 4,940,503	法人本部経費は含まれていません。
本俸	16,346,000		16,346,000	20,017,095	△ 3,671,095	
社会保険料			0	2,718,981	△ 2,718,981	
手当計	9,713,000		9,713,000	4,589,655	5,123,345	
健康診断費	13,000		13,000	22,681	△ 9,681	
勤労者福祉共済掛金	28,000		28,000	20,250	7,750	
退職給付引当金繰入額	599,000		599,000	4,269,535	△ 3,670,535	
その他			0	1,306	△ 1,306	
事務費	670,000	0	670,000	970,386	△ 300,386	法人本部経費は含まれていません。
旅費	20,000		20,000	20,000	0	
消耗品費	0		0	124,623	△ 124,623	
会議賃借費	0		0	0	0	
印刷製本費	65,000		65,000	42,511	22,489	
通信費	222,000		222,000	195,820	26,180	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	98,000	△ 98,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	32,076	△ 32,076	
職員等研修費	21,000		21,000	12,000	9,000	
振込手数料			0	37,000	△ 37,000	
リース料	342,000		342,000	337,930	4,070	
手数料			0	25,550	△ 25,550	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	44,876	△ 44,876	
事業費	1,264,000	0	1,264,000	1,023,808	240,192	法人本部経費は含まれていません。
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算: 指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	110,000		110,000	23,360	86,640	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	70,000		70,000	63,448	6,552	
その他			0	0	0	
管理費	2,173,000	0	2,173,000	2,213,458	△ 40,458	法人本部経費は含まれていません。
光熱水費	1,117,000		1,117,000	1,350,436	△ 233,436	
清掃費	351,000		351,000	359,283	△ 8,283	
機械警備費	60,000		60,000	59,182	818	
設備保全費	645,000	0	645,000	310,759	334,241	
空調衛生設備保守	121,000		121,000	127,776	△ 6,776	
消防設備保守	8,000		8,000	7,214	786	
電気設備保守	24,000		24,000	29,591	△ 5,591	
害虫駆除清掃保守	26,000		26,000	6,763	19,237	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	466,000		466,000	139,415	326,585	太陽光発電設備保守、自動ドア、ELV、樹木、ゴミ、文書処理
共益費			0	0	0	
その他			0	133,798	△ 133,798	
修繕費	126,000		126,000	70,211	55,789	予算: 指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていません。
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0		0	法人本部経費は含まれていません。
支出合計	30,932,000	0	30,932,000	35,917,366	△ 4,985,366	
差引	8,152,755	0	8,152,755	△ 2,720,850	10,873,605	
自主事業費 収入	61,000	0	61,000	20,400	40,600	
自主事業費 支出	634,000	0	634,000	540,808	93,192	
自主事業 収支	△ 573,000	0	△ 573,000	△ 520,408	△ 52,592	
管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:豊田地域ケアプラザ

令和6年4月1日～ 令和7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	12,000	11,900	100	12,843	13,465	-622	75,633	71,520	4,113			0
	その他	0	0	0	9,396	10,060	-664	0	0	0	73	49	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0	9,396	10,060	-664			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	21,396	21,960	-564	12,843	13,465	-622	75,706	71,569	4,137	0	0	0
	人件費			0	6,277	6,575	-298	10,250	13,787	-3,537	50,892	56,480	-5,588			0
支出	事務費			0	390	123	267	240	260	-20	8,100	9,061	-961			0
	事業費			0	12,130	12,759	-629	1,437	1,891	-454	26,049	26,186	-137			0
	管理費			0			0	0	0	0	2,851	2,681	170			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	171	160	11	0	0	0
	利用者負担軽減額			0	0	0	0			0	0	0	0			0
	消費税			0	0	0	0			0	171	160	11			0
	介護予防プラン委託料			0	0	0	0			0	0	0	0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	18,797	19,457	-660	11,927	15,938	-4,011	88,063	94,568	-6,505	0	0	0
収支 (A)-(B)		0	0	0	2,598	2,503	95	916	-2,473	3,389	-12,357	-22,999	10,642	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	子育てティーサロン	平成7年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	少子化や核家族化にともなう子育て環境の孤立化を解消するため、就園前の乳幼児と保護者を対象にサロン事業として、保護者同士、ボランティアとの情報交換を行う。	3:養育者及び乳幼児		子育て中の保護者同士の交流、子育てに関する相談へのアドバイスを行いました。ボランティアグループ「まつぼっくりの会」が当日の進行を行い、ケアプラザが運営を行う。また、地域の保育園、他のボランティアグループの協力を得て、育児講座、手遊び、人形劇公演等を実施。	21	256
2	障がい児余暇支援事業	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がい児の余暇を支援する事業として笠間地域ケアプラザと共に共催。共催することで参加者や支援者の参加機会が広がり、地域の障害に対する理解と交流する機会を広めることができることが出来る。	2:障害児・者		年間4回笠間地域ケアプラザ共催で実施しました。豊田ケアプラザでは「ダンス」や、「折り染め」を家族で行い交流の時間をもちました。	2	25
3	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成22年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	介護施設等でボランティア活動を行うとポイントがたまり、換金、寄付ができるポイント制度を周知し、ボランティアを促進する。	1:高齢者		6月と10月に実施。	2	12
4	ご近所茶話会	平成7年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	参加者の仲間づくり、生きがいづくりの支援、および参加者の安否確認をおこなう。	1:高齢者		高齢者対象のサロン事業で、健康維持のための体操、頭や手を使ったレクリエーションなどを交互に取り入れ、楽しみを提供しました。また、抹茶と和菓子を食しながら、おしゃべりの場を楽しむ。個人ボランティアが企画・運営に携わりました。	11	284
5	AIAIAIの会	平成28年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症予防の普及啓発事業を身近な地域で参加してもらうこと、広げることを目的に町内会館で実施する。	1:高齢者		飯島町内会館で簡単な運動とゲームを実施。仲間づくりとなっている。月1回	12	141
6	豊田スクエアステップ	平成28年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	高齢者の転倒予防、介護予防、認知症予防の効果を推進する。	1:高齢者		ストレッチや全身の体操をした上で専用のマットを利用して、ステップパターンを覚えて、間違わないように前に進む足踏みエクササイズを実施します。月2回	24	203

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	介護者のつどい	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者のリフレッシュと介護者同士の情報交換や仲間づくり、気持ちの共有を目的とし、リフレッシュできる場の提供。	1:高齢者		ヨガ、お茶ソムリエ、食事会などを行ながら、日頃の介護に関する情報交換・懇談会を実施。	6	46
8	成年後見制度出前講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	成年後見制度をコンパクトに纏め紹介。栄区内の7包括でパワーポイントの分かりやすく解説したレジメを作成。小さな集まりなどにも気軽に講座を開催して制度の普及啓発をしていく。	5:地域		自治会やケアマネ事業所などからの依頼に応じて権利擁護の講座を実施	4	85
9	虐待出前講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	栄区内の7包括でパワーポイントの分かりやすく解説したレジメを作成。小さな集まりなどにも気軽に講座を開催して虐待防止の普及啓発をしていく。	5:地域		サロン団体、自治会町内会、介護保険事業所などからの依頼で虐待啓発講座を実施	7	101
10	ロバとも★よだ	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症キャラバン・メイトを中心としたメンバーが集まり、認知症サポート・養成講座等を活用し認知症への理解啓発をおこなう。	5:地域		定例会を実施し、見守りネットワークと共に映画上映会を実施。認知症理解について普及啓発を実施しました。	7	32
11	歯科衛生士さんによる歯と口の健康講座	R7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	豊田地区ではオーラルフレイルが進んでおり、口腔機能を維持する為の講座を実施	5:地域		歯科衛生士を講師に招き、歯ブラシを利用した口腔マッサージや歯周病の実際の写真を用いながらの講義を実施	1	42
12	おなか元気教室	R6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	腸の役割や構造について模型を用いながら、腸内環境の大切さを講師による講座を実施	1:高齢者		腸内環境にフォーカスし、神奈川中央ヤクルト販売株式会社による講義を開催。人体の模型を使い、実際に手に取るなど分かり易く説明。10/25開催	1	16
13	顔ヨガでお口の若返り	R6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	豊田地区ではオーラルフレイルが進んでおり、口腔機能低下予防のため、口回りの筋肉を動かす講座を抗加齢指導士によって実施	1:高齢者		看護師で抗加齢講師の先生を招き、顔ヨガにて口回りの筋肉を動かすことでのオーラルフレイルの予防を行う。11/7開催	1	21

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	尿モレ予防エクササイズ	R6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	フレイル予防として、高齢者より要望の多いトイレの悩み(頻尿・尿漏れ)について、健康運動指導士によるエクササイズ講座を開催	1:高齢者		健康運動指導士の講師を招き、日常生活の中で行うことの出来る尿モレ予防体操をレクチャーする。11/19開催	1	20
15	総合栄養講座	R6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	効率的に栄養を摂取するための知識や排泄(排便、排尿)の大切さ、誤嚥性肺炎の予防について栄養士から講義の形で開催	1:高齢者		神奈川県立平塚看護大学校に栄養士を招き、低栄養予防や消化吸収、誤嚥予防まで幅広く講義。12/4開催	1	17

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	新しい配食グループ立ち上げ準備会	R5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	30年間配食活動を行なってきた「積み木」が配食サービスを終了するに伴い、新しいグループを立ち上げるため	5:地域	1:高齢者	運営について会議を実施。週1回配食ができるよう計画	11	111
17	民生委員さんとの懇談会	R5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	町単位の民生委員と一人暮らし訪問ができなかった方やケアプラザに相談があつた方の情報を共有するとともに、地域状況の把握やそこに対する対応について話し合いを行うため	7:その他	1:高齢者	町内会ごとに懇談会を実施。情報共有ができた。	10	22
18	ポールウォーキング	R6年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	地域住民の健康維持、交流の機会、地域のつながりを目的とする。R5に豊田で立ち上がったポールウォーキングのサークルも紹介しグループの広がりにも期待	1:高齢者		ふじやま公園を実際に歩き、仲間同士の交流も深まった。	1	9
19	3回連続父親講座	R6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の父親同士のつながりづくりのため、仕事と育児の両立や子供の接し方を学ぶため	3:養育者及び乳幼児		「子育てはじめの一歩 & 体を使った遊び」「子どもにうける！絵本の読み聞かせ & 仕事・子育て両立方法」「イライラしない子育て & 夫婦のパートナーシップ」以上のテーマで3回講座をしました。	3	27
20	にこりんく共催子育てサロン	R6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の親子に対し、0～未就学児と保護者のふれあいの時間提供や相談の場を設けたイベントを実施。	3:養育者及び乳幼児		にこりんくは人気ですが、豊田から距離があるため、出張してくれることを子育て中の方はとても楽しみにしています。持ち帰れる遊びを覚えられるのも保護者にとって学びになりました。	2	55
21	飯島保育園共催子育てサロン	R6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育ての親子に対し、保育士によるプログラムや気軽に相談できる場を設け子育てを応援するため実施。	3:養育者及び乳幼児		プログラム後、保護者と保育士がお話できる時間をもちました。ちょっと聞きたいことなど気軽に交流が持てました。来年度もお話できる時間は必要だと感じました。	2	38
22	LINE講座	R6年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢者向けのスマホ講座の一環として実施。	1:高齢者		LINEの基本的な使い方を学びました。	1	16